



# 予期以上の効果 女大生の列車内サービス

## 熊本は特異なケース

あの思わしい七・二六災害で、人々が度胆を抜かれ、眼を奪われていた八月初旬。熊本駅や市内の主なバスの停留所の片隅に、身を細めて立っていた「旅の新生活運動週間」という看板にお気づきでしたでしょうか。

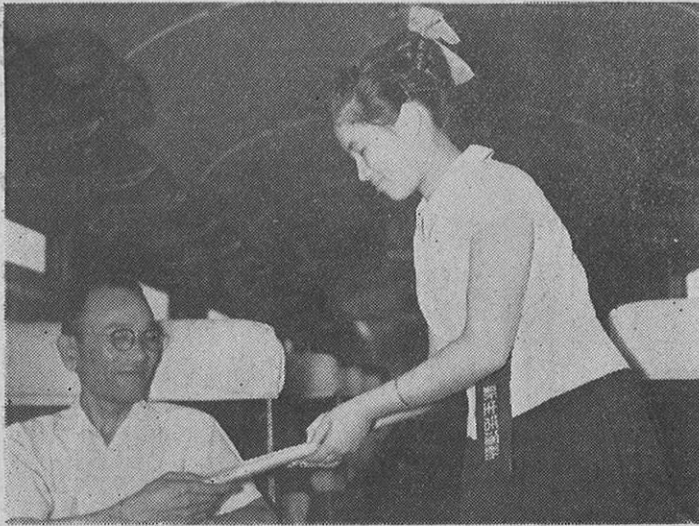
正確に言えば、八月一日から八月七日までの一週間です。このほかにも、電車やバスの窓に、小型のポスターが貼られていたのです。

惨事の收拾に、県下の凡ゆる機構が、つむじ風のような活動を開始して、唸りをあげている、といった時期にこんな情勢とはおよそ不釣り合いな看板であったために、なんの感興もなく黙殺された方も多いいと思います。

ところが、看板の気がねとは裏はらにこの行事はたいへん好評を博しました。しかも全国一斉に行われた中で、熊本は特異のケースとして注目されたのであります。

では、「旅の新生活運動」とは、どんな運動で、どんな行事をしたのか、かいたようです。

つまんでお話ししましょう。一口に申しますと、「旅を楽しく明るくする」運動であります。旅行者の皆さんに「旅のエチケット」を守っていただき、譲り合つ



「旅のエチケット」を守っていただき、譲り合つ

## まるでゴミだめ列車

熊本女子大 奥村久代

- 汽車に乗って先づ第一に感じた事は、何と云つても車内に紙くずが多いのだらう。」と驚いていたのですが、京都、鹿児島間の下り列車はそれどころではなくまるで『芥溜列車』とでも名付けらねそうな状態、ほんとうに頭が痛くなる思いでした。(中略)
- その他
1. デツキに立っているのが小学生に多いこと。
  2. 入口に荷物を置いてい
  3. 窓から足を出している人、あるいは乗客の多い中で、平気でランニング一枚になつている人がいたこと。
  4. 特に待合室がきたないこと。
  5. 車内の御便所の悪臭、などです。これらの事に対して、私達は出来るだけのことはお客様にお願いしましたが、まだまだ充分だとは思えません。(下略)

て、清潔で、朗らかな旅行をしていただくというのが趣旨です。そのために、新生活運動協議会が音頭をとつて、運輸省、国鉄、交通協会、観光連盟などの機関と一緒にたつて全国一斉に行つたのです。

この運動は、既に昨年、最も旅客の混雑する八月、十二月をねらつて、年二回実施されておりますが、旅行者の共感を呼んで好評でありましたので、引続き毎年実施される

## 乗務車掌に協力

これは杞憂で、逆に女性であつたために旅客に好感を与え、予期以上の効果が上つたようです。

## 乗務車掌に協力

車内マイクで紹介された熊本女子大学の奥村久代さん、大槻寛子さんの両サビス員が「新生活運動」の腕章をつけて車内に入つて来るのを見て、坐席を独り占めして寝ていた年輩の客が、慌て、坐り直したり大きな荷物を背負つた老婆が、つと寄つた彼女から「おばさん、お荷物持ちましょう。」と両手の荷物をもつてもらつて涙ぐんだり黙つて、散らかつた塵屑を拾つてくれる彼女達に「あら、ごめんなさい、子供が散らしちやつて。」と急いで辺りのごみを拾う婦人もあるなど、微笑ましい場面が数々ありま

した。そのほか、通路の荷物の整理、切符の切り替え、買いものの取次ぎ等細々とした用事までテキパキと片付け、その間には、自分で車内マイクを通じ、協力依頼の放送もするなど、彼女達の活動もたいへんです。

最初の三日間は、豊肥線を宮地まで、あとの四日間は産児島本線を久留米まで三十五度の猛暑に加えて超満員の混雑の中での、往復数時間の勤務で、彼女達は一キロも瘦せたといふことだ。

車掌区長さんの話によりますと、「これでお客さんのエチケットは以前に比べて相当向上したのですよ。」とのことでしたが、まだまだどうしてひどいものです。平気で車内に痰を吐く人、塵屑をとめる構わず捨て散らす人、荷物を通路に置いて平気な人等々学生サビス員の手記にもあるように、「快的な旅行」にはほど遠いようです。

私達一人一人が、お互いの為に、住み良い明るい社会を作る為に、人間として良心の恥じない行動をするように努めたいものと感じました。

## 公民道徳の未発達

熊本女子大 大槻 寛子

八月一日から七日まで一週間に亘るこの運動は、私達女子学生の初めての体験でありながらも、個人的にも又、公衆的にも非常な波紋を及ぼしたと思う。まず第一に私達の実践するサービスが最初予想していたように盲く出来たか否かは別として、こういう新生活運動の一環である旅の新生活運動が行われているということが一般大衆に知られ、そしてこれに対して注意と関心が促進され呼び起されつゝある芽が見えたのは、この実施の最大の成果

と思われる。(中略) この旅の新生活運動の問題は、従来の日本人の公民道徳的態度の未発達であることにあり、自分勝手な心、自分勝手な振舞、自分だけよければいいという島根性では今後の国際的大国民となることは、覚つかないと思つた。

これらの人々も、わが家ではそれぞれ秩序のある暮らし方をしているのだから、つい旅先が、つい安易感がさせるので

私達一人一人が、お互いの為に、住み良い明るい社会を作る為に、人間として良心の恥じない行動をするように努めたいものと感じました。



## 納税感謝の夕べ 一八代

県税務課では、県税について、平素御協力を願つている納税者の方々に礼のため納税感謝の夕べ(RKK公開録音)を、去る八月十七日午後六時半から、八代市内の興国人絹パル八代工場文化会館で華やかに催しました。村田八代県事務所長の挨拶に始つて、歌謡曲、ジャズコンサート、バレエ、納涼音頭等地元の方々の熱演の後、アベック歌合戦がシューゲーテムで展開され、お馴染みバツテン組の肥後わかを最後として、午後十一時半、三千五百人のお客さんに嬉しい夕べの幕を閉じました。

またこの運動のやり方にもいろいろ反省すべき点があります。僅か二名の学生が乗務しても、混雑甚だしい列車ではどうにもならないこと。チラシを用意しておけばもつと効果があつたであろうこと。その他期間や広報の問題についてもなおよく検討して見る必要があります。

しかし、問題はあつても、こんな運動が始められている、ということは充分認識され、旅の道徳昂揚に貢献できたことは確かです。「ほう、新生活ではこんな運動もやるのかね。これはいいよ、これなら誰でも協力できるからね。」と改めて新生活運動を見直す二等車の客もあつた。この運動が実を結ぶ日はずいぶん先の

ことかもしれないませんが、あの災害の混乱の渦中に、ささやかながらこんな運動が行われ、しかも予期以上の効果を挙げていたことをお伝えし、今後のこの運動への協力を願います。(熊本県新生活運動協議会)

身体障害者職業更生週間  
期間 九月十日から十七日まで  
身体障害者の職業能力を理解  
しましよ  
熊本県・公共職業安定所  
同 補 導 所